（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和７年度 学校自己評価システムシート（県立与野高等学校）

S10

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校

重点目標	
	1　幅広い教養と確かな学力の向上を図るとともに、新学習指導要領への対応やＩＣＴ活用に取り組み、進路実現を支援する。 2　自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3　保護者・地域との連携をとおして、開かれた学校づくりを推進する。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者		
	学校関係者	６名
	生徒	８名
	事務局（教職員）	４名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価
年度目標					年度評価（１月２６日　現在）			実施日　令和８年１月２９日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	＜現状＞生徒は教員の話をよく聞き、友人と協調的な態度で意欲的に学習に取り組んでいる。 ＜課題＞進路希望を実現する確かな力を身に付けさせる。	○授業充実と生徒の学力向上	①Google Classroom を活用した学習の見える化による自律的な学びの促進 ②ICT 機器を活用した映像や音声による分かりやすい授業の充実	①②生徒・保護者アンケートの授業への「自己評価」で肯定的回答が90%以上	①②生徒アンケート肯定的意見 授業満足度　92.1% 保護者アンケート肯定的意見 学校及び家庭での学習　77.5% ①生徒アンケート肯定的意見 進路行事参加　77.0% 保護者アンケート肯定的意見 家庭で進路の話をする　91.9% ②委員会や分掌、学年会について、年間計画を立て、定期的に開催することができた。	A	○授業が満足できない理由として、「説明がわかりにくい 27 人」とある一方で「進度が遅すぎる 16 人」とあり、幅広い学習ニーズに応じた対応が必要。 ○保護者アンケート「今後充実させてほしいこと」は、「進路指導 358 人」がトップであった。進路指導の充実と情報発信が課題。	・与野高校は進路相談について、教員が親身になって相談にのってくれる素晴らしい学校である。 ・進路行事に関する生徒アンケート結果が 77.0%と低い。高校生は目の前のことに精いっぱいで、進路のことまで考えられないので、学校側から働きかけてほしい。 ・授業について「説明がわかりにくい」との意見もあるので、引き続き先生方には授業の充実に努めてほしい。
		○生徒が希望する進路の実現	①外部機関と連携した進路ガイダンスや戦略的な模試の実施 ②生徒理解を深め、進路希望の現状と課題を共有するための組織的支援体制の構築	①生徒・保護者アンケートの「進路行事への意欲的な参加」が 80%以上 ②委員会や分掌、学年会の定期開催				
2	＜現状＞落ち着いた校風の下で基本的生活習慣が身に付いており、挨拶がよくできる。多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。 ＜課題＞自主性や自己表現の力を高めていく。	○チャレンジ力とコミュニケーション力の育成	①生徒会や各種生徒委員会を中心とした学校行事の企画・運営と自主自律の精神を育成 ②生徒の好奇心・学びたい力を伸長する日頃からのコミュニケーション	①生徒・保護者アンケートの「行事・部活動の取組」で肯定的な回答が 90%以上 ②担任・副担任からの声かけや生徒との会話について共有する学年会の定期開催	①生徒アンケート肯定的意見 行事参加　95.9% 部活動参加　78.4% 保護者アンケート肯定的意見 行事参加　94.6% 部活動参加　86.2% ②学年会をとおして、生徒との会話について、十分に共有することができた。 ○生徒アンケート肯定的意見 学校生活のルールを守る 97.9% 保護者アンケート肯定的意見 生活態度　97.6%	A	○生徒・保護者アンケートともに、与野高校の教育活動で充実しているもののトップ３は、①部活動②生活指導③学校行事であった。今後も「二兎を追い、獲得する」与野高校の強みを伸ばしていきたい。 ○基本的な生活習慣やルールマナーは徹底されている。今後も自己管理の姿勢を育み、与野高生としてのプライドを育成したい。	・「二兎を追い」のとおり、行事・部活動への参加意欲は高い。行事・部活動をとおしてどのような成長があったのか、「獲得する」という側面についても、ぜひ知りたい。 ・与野高校は、昔から挨拶、礼儀がしっかりとした、気持ちのよい学校であり、伝統となっている。 ・生活態度についてのアンケート結果が、生徒と保護者でほぼ同じ数値である。裏表がない生徒が多いのだと思う。
		○与野高生としてのプライドの育成	健康やスケジュールの自己管理をとおして、自他を尊重する精神を育成	生徒・保護者アンケートから、主体的に取り組む肯定的な回答が 90%以上				
3	＜現状＞地域に根ざした学校として本校の教育活動が地域に理解されており、ＨＰや保護者宛てメールも数多く更新・配信している。 ＜課題＞地域との連携・協働的な取り組みに積極的に関わっていく。	○保護者・地域等の連携	①学校ＨＰの充実、特色ある教育活動の積極的な発信 ②あらゆる教育活動をとおして鮮度の高い情報を発信 ③地域連携事業等への参加者の増加 ④創立 100 周年に向けた関係者との連携	①ホームページの更新回数が年 120 回以上 ②ＰＴＡ主催事業等の参加者数が年 300 人以上 ③地域連携事業等の参加生徒数が年 100 人以上 ④記念事業に向けた実行委員会の立ち上げ	①ホームページの更新回数は、年 300 回を超えた。 ②ＰＴＡ主催事業等の参加者数は、年 350 人を超えた。 ③地域連携事業等の参加生徒数は、年 120 人を超えた。 ④記念事業に向けた実行委員会を令和８年１月２４日に立ち上げた。	A	○保護者アンケート「家庭への情報提供」について、肯定的意見が 86.6％であった。地域連携については、生徒が自主的に参加した。次年度は、創立 100 周年に向けて、歴史、文化、地域との関わりを学ぶ機会としたい。	・学校ホームページの更新数が多く、素晴らしい。 ・地域連携では与野高生が活躍している。受け入れ側としては、助かっている。毎年楽しみにしている。 ・進路変更や不登校が少ない。心理的安全が保たれている学校であることを、もっとアピールしてもよい。 ・中学生向けに SNS を活用した情報発信も検討してはどうか。